

高齢者社会に向けたICT活用と介護の未来

SENIOR BUSINESS MARKET

月刊 シニアビジネスマーケット

07

2020
July
No.192

特集
withコロナ時代の
介護ICTプラットフォーム

「リスク管理」「見える化」「報告業務削減」に貢献 「デイサービス向け記録ソフト」「コネクトケア」 セントワークス

多彩な介護事業を広く全国展開するセントケア・グループ。その1社であるセントワークス(株)では、介護事業をさまざまな形でサポートする業務を展開。その同社が、2019年末に販売を開始したのが、「デイサービス向けの介護記録ソフト」「コネクトケア」である。

その特徴は介護業務における「リスク管理」「見える化」「報告業務」の3点に見出せる。

まず「リスク管理」については、

・服薬管理

アセスメントに基づき、利用者個々人の服薬情報を登録することで日々の記録において服薬の有無や実施結果を確認できることから、誤薬などのリスクマネジメントを実現する。

・入浴チェック

利用者の入浴につき看護師による判断と、現場スタッフによる実施の項目に分けて設定。情報の引継ぎも確実に。

・加算管理

日ごとに予定と実績の差異を確認できる帳票や、予定にない加算を実績登録の際のアラート機能などを備えることから、加算のつけ忘れや誤入力を未然に防ぐ。

・振替機能

利用日の日程変更に対応。
などの機能を持ち、ケアと管理実務にお

るリスク軽減を実現。職員間の情報共有や突合などの作業の軽減にもつながるものといえる。

次に「見える化」に関しては、利用者の基本動作や要介護度、ADLやIADL、さらに認知症高齢者や高齢障がい者の日常生活自立度、MMSE診断結果などにつき状態変化をグラフ化。これによってケア実施後の効果などが可視化され、利用者はもとより職員も含めたモチベーションアップに貢献する。

さらに「報告業務」に関して、予定実績率や、新規顧客の相談状況などが把握できることからデータに基づく正確な稼働管理を支援。これにより翌月の売上予測が可能になるほか、日ごとに売上げが把握できるため月次途中の段階で翌月に向けた対策の立案も可能。さらに介護度別の利用状況も明示され、社外営業に際して効率的な戦略立案などに活用できる。

その開発の経緯を同社営業部課長の若松健二氏に聞いた。「そもそもセントケアでは55カ所のデイサービスを展開しておりますが、ことに中重度者の方々を主対象とするなかで、その記録を効率的に実現できるシステムの導入を2年以上前から検討してきました。そこでまず既存の製品の導入を考えたところ、セントケアのニーズとマッチングするものが見

当たらず、結果的に自社での独自開発に臨むという選択に至りました」。

システム開発に際し最も重視されたのは、介護職員の業務削減による労働環境の改善だった。「デイサービスは記録業務を行なう時間がどうしても日中業務の終了した夕方以降になってしまったため、残業が多くなってしまう状況がありました」。そのことが職員のモチベーションに負の影響を及ぼしていたことから、その改善を目指したという。

加えて事業面でも、介護報酬の漸減が進み収益力低下を余儀なくされる昨今、業務効率化は経営の持続可能性を確保するうえでも喫緊の課題であった。

この2つの課題を解決する実効性のあるシステム開発に向け、同社ではセントケアを展開する55カ所の事業所にて2年間にわたり実際に運用、検証を実施。そこでのブラッシュアップなどを繰り返すなかで今回のリリースに至ったとのこと、「現場から生まれた現場のためのシステム」といえるだろう。

その結果、紙による管理時に比べ転記作業および請求業務の効率化については、「1事業所当たり月80時間程度の労働時間の削減が可能と見込んでいます」(若松氏)。さらに「業務効率化によるコスト削減に加え、働きやすい環境ができたことで、人材確保の面でも貢献しています。特にデイは若い方の応募が多いこともあり、このシステムの存在がアビールポイントにもなっています」と続ける。

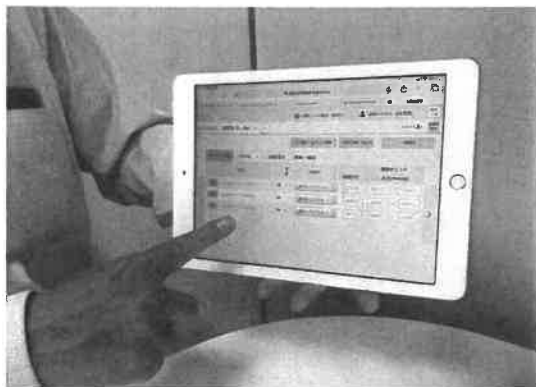
セントケア・グループとして所有する介護現場のニーズを直接吸い上げられるというリソースをフルに活かすことで、「かゆいところ

に手の届く」システムの開発につながったといえるだろう。

とりわけケアプランと連動し個人に必要なケア情報が入力でき、的確に把握・管理できることから、現場職員の判断根拠になる点はポイントだ。「不安のない職場環境づくり」に貢献するとともに、職員の自立と育成につながっていくことが期待できると若松氏。

初期設定費用は1法人につき5万円。月額利用料は1営業所につき3万5000円。複数の事業所を展開する場合、本部機能の利用料として別途1法人につき1万円(いずれも税別)としている。ライセンスフリーのため1事業所で台数に制約なく利用できる点も魅力だ。現場ではiPad、バックオフィスではPCで操作を行なう。

現在はデイサービスに特化する同システムだが、今年中にはショートステイ版の発売も予定しているという。



現場ニーズを踏まえて開発
<https://www.saint-works.com/>